

【南三陸の今】

◎入谷 YES 工房

私たちは YES 工房で、南三陸杉の枝で作るスプーン作り講座を体験しました。この講座では、廃材となる木の再利用をすることで、森の成長を助けることを目的にしていると教わりました。スプーンの作り方は、小刀を使って杉の皮を削ります。小学校で彫刻刀を使って以来、刀という刀に無縁であった私たちでしたが、自分好みの太さまた形にできるということで、気づけば小刀を持つ慣れない手に全神経を集中させていました。小刀を持つ際のポイントは力の度合いよりも持ち手の角度を重視すべきだそうです。つい手に必要以上の力が入ってしまい小刀にかける力と削れた皮の量が比例してくれないところにひと苦労しました。しかし完成させたスプーンを掴んだとき、自分の手にフィットするようこだわり抜いて行なった過程がしっかり活きているのを実感し、つい笑みがこぼれました。このようにひと汗かいて完成した世界にたった一つのスプーンは、東京に帰ってから毎日の食卓をする際欠かせないお供となっています。ほんのりピンク色の南三陸杉のスプーン作り、おすすめです！

南三陸と聞くと海産物のイメージが強いですが、山・里・海・川が連関し共生している町こそが南三陸です。特に質の高さで知られる南三陸杉は、やませによるミネラルを含んだ海風をたくさん受けることで樹高が高く緩慢な材となり赤みがかかった綺麗なピンク色をしているのが特徴です。YES 工房のスプーン・フォーク作りでは、そんな南三陸杉の中でも使われないで放置された杉の枝を再利用するという形で直接触れることが出来ます。南三陸の地域事業に携われると同時に杉を再利用するという観点では環境保護に一役担える貴重な体験ができる素晴らしい観光スポットです。皆さんも少しでも興味が湧いたら、ぜひ足を運んでみてください。



YES 工房の外観



スプーン・フォーク作りの材料



南三陸のタコがモチーフの縁起物
キャラクター「オクトパス君」

○YES 工房 〒986 - 0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷中の町 227

☎南三陸復興タコの会 0226 - 46 - 5153

廃校をリニューアルし建てられた YES 工房は「廃校工房」→「廃工房」→「YES 工房」というポジティブな意味を込めてこの名称が付けられました。『南三陸を明るく元気に』を掲

げ、南三陸町内にあって地元の方々が働ける貴重な場所となっています。